

センター試験への道 現代社会(第4版)

最終更新日付 2018年3月29日

項番	区分	ページ	箇所	誤	正	修正刷	補足事項
1		16	17	17 葛藤には、次のA～Cに示すような型がある。また、下のア・イは葛藤が生じる状況の例である。葛藤の型A～Cと、その型に対応する状況の例ア・イから選択したとき、それらの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。[15・追]	17 葛藤には、次のA～Cに示すような型がある。また、下のア・イは葛藤が生じる状況の例である。「自分の意見は伝えていきたいが、それによって他者の意見とぶつかるのは嫌だ」という葛藤と同じ葛藤の型をA～Cから選び、その型に対応する状況の例をア・イから選択したとき、それらの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。[15・追]	1→2	
2		16	17 解説	AとC葛藤は生じない B葛藤が生じる。誘いたいという思いと断られるのが嫌という気持ちとの葛藤の例である。	*「自分の意見は伝えていきたいが、それによって他者の意見とぶつかるのは嫌だ」という葛藤は「接近－回避」型の葛藤。これと同じ葛藤の型はAである。	1→2	
3		46	10 ③解説	③これら三つの事項については衆議院の先議が必要である。	③これら三つの事項については衆議院が優越する。		次回増刷時に修正
4		50	10 ②解説	法定	法廷	1→2	
5		50	11 ①解説	最高裁判所が下級裁判所の裁判官の任命を行う。	最高裁判所の指名した名簿により内閣が下級裁判所の裁判官の任命を行う。	2→3	
6		52	5 ④解説	④知事には条例案に対する拒否権があるが、市町村長にはそれはない。	④首長(知事・市町村長)には議会に対して議会の議決した条例案に対して拒否権がある。	1→2	
7		52	7 ④解説	④知事には拒否する権限がある。	④首長には拒否する権限がある。	1→2	
8		53	10 ①解説	5分の1	50分の1	1→2	
9		55	16 ④解説	3分の1	3分の2	1→2	
10		57	26 ②解説	②地方議会には首長に対しての不信任決議をして、解職させることはできない。	②首長は議会を解散することができる。	1→2	
11		58	2 ②解説	「企業・団体が政治家個人に献金することは禁止されていない。」	左「」部分削除	2→3	
12		66	3 ①解説	①ドル高を是正する合意がプラザ合意であり、為替相場への介入を控えた。	①ドル高を是正する合意がプラザ合意であり、ドル売り・円買いの介入を行った。	2→3	
13		67	2 ①解説	①外部経済の例である。	①市場での競争にあたるため、外部不経済には該当しない。	2→3	
14		72	1 ①解説	①GDPは海外からの…	①GNPは海外からの…		次回増刷時に修正
15		84	5 ③解説	2002年	2012年	1→2	
16		95	1 ①解説	資源環境保護法	自然環境保全法	2→3	
17		102	8 ④解説	1957年	1956年	1→2	

18		106	16 ①解説	①国連の特別総会には非政府組織の参加は認められていない。	①国連の特別総会には非政府組織の参加が認められている。	1→2	
19		125	10 ④解説	④選挙は行われたが、民主的とはいえず、アウン・サン・スー・チーらの政党は政権を担当していない。	④出題の2012年には誤答であったが、その後2015年にアウン・サン・スー・チーが政権を掌握した。(解答は③だけでなく④も正解)	1→2	